

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

職業実践専門課程 産業デザイン学科 グラフィックデザイン専攻

授業科目名	区分		配当年次 学期	授業時数
	必修	選択		
デザイン概論	○		1年・前期	30
基礎造形Ⅰ	○		1年・前期	30
基礎造形Ⅱ	○		1年・後期	30
コンセプトメイキング	○		1年・前期	60
デッサン	○		1年・前期	60
グラフィック基礎Ⅰ	○		1年・前期	60
グラフィック基礎Ⅱ	○		1年・前期	60
印刷・レイアウト基礎	○		1年・前期	60
DTP演習Ⅰ	○		1年・前期	60
基礎デザインⅠ	○		1年・前期	60
ビジュアル表現	○		1年・前期	60
グラフィック演習	○		1年・後期	60
基礎デザインⅡ	○		1年・後期	30
広告デザイン演習Ⅰ	○		1年・後期	60
印刷・レイアウト演習	○		1年・後期	60
DTP演習Ⅱ	○		1年・後期	30
WebデザインⅠ	○		1年・後期	30
撮影基礎	○		1年・後期	30
パッケージデザインⅠ	○		1年・後期	30
グラフィック表現テクニック	○		2年・前期	60
インフォメーションデザイン	○		2年・前期	60
コミュニケーションデザイン	○		2年・前期	60
広告デザイン演習Ⅱ	○		2年・前期	60
DTP演習Ⅲ	○		2年・前期	60
DTP演習Ⅳ	○		2年・前期	60
WebデザインⅡ	○		2年・前期	60
専門技術演習Ⅰ				
ブランディングデザイン		○	2年・前期	60
アートディレクション				
撮影テクニック				
専門技術演習Ⅱ				
広告プランニング		○	2年・前期	60
パッケージデザインⅡ				
シルクスクリーン				
英語	○		1年・前期	30
合 計				1470

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 長谷川 かわり、和田 夏美 (専任教員)
実務経験： 長谷川：広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務
和田：広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務

科目名： **デザイン概論**

履修形態： 必修
授業形態： 講義＋演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 30時間
単 位： 1単位

■科目概要： 社会の中でグラフィックデザインがどのような役割を担っているのか、各種事例研究を通じて理解するとともに、アートとデザインの違い、広告制作をはじめとした何らかの情報伝達を行う際に、クリエイターとして留意すべき点等について学ぶ。

■到達目標： 1: 社会の中でグラフィックデザインがどのような役割を担っているか理解している。
2: 課題制作において「誰に」「何を」「どう伝えるか」を意識して取り組むことができる。
3: リサーチやブレインストーミング・プレゼンテーションなど、他者との協働による作業ができる。

■授業計画：

- 第1回 ガイダンス、デザインの代表的な分野・領域
- 第2回 デザインとアート、情報の伝達
- 第3回 広告とは(新聞広告等を用いた事例研究)
- 第4回 企画とは(アイデアを出すための視点)
- 第5回 グループワークA①(第三者へモノ・コトの魅力を伝える)
- 第6回 グループワークA②(第三者へモノ・コトの魅力を伝える)
- 第7回 グループワークA③(プレゼンテーション・講評)
- 第8回 関係性の可視化①(視点の動かし方、他者の視点を知る)
- 第9回 関係性の可視化②(視点の動かし方、他者の視点を知る)
- 第10回 関係性の可視化③(プレゼンテーション・講評)
- 第11回 グループワークB①(作業マニュアル作り)
- 第12回 グループワークB②(作業マニュアル作り)
- 第13回 グループワークB③(プレゼンテーション・講評)
- 第14回 グループワークB④(ブラッシュアップ)
- 第15回 グループワークB⑤(ブラッシュアップ)

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 新明 史子 (非常勤講師)
実務経験： オリジナル絵本の制作ユニットを主催し、本の企画提案・グラフィックデザイン・テキスト制作・製本等に携わっている。

科目名： **基礎造形Ⅰ**

履修形態： 必修
授業形態： 講義＋演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 30時間
単 位： 1単位

■科目概要： 前半は検定試験公式テキストを使用し色彩理論の基礎を学ぶ。
後半は基礎的な平面構成課題を通して構成力・イメージの抽象表現力・実用的な色彩感覚等を養う。
実用的な色彩感覚を養うことを目指した課題に取り組む。

■到達目標： 1: 色彩士検定取得に向けて、演習を通して色彩理論の基礎を身に付ける。
2: 色彩及び構成の基礎を学び、用途やデザインに適した実用的な配色が出来る。
3: 積極的に課題に取り組む姿勢を身につけ、より完成度の高い作品を目指す向上心を育成する。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション・色彩の基礎①(色の成り立ち・混色)
- 第2回 色彩の基礎②－1(色の三属性・色相環)
- 第3回 色彩の基礎②－2(色の三属性・色相環)
- 第4回 色彩の基礎③(PCCストーン①)
- 第5回 色彩の基礎③(PCCストーン②)
- 第6回 色彩の基礎④(明度・彩度とPCCストーン)
- 第7回 色彩の基礎⑤(対比効果)
- 第8回 色彩の基礎⑥(視認性/色の連想・イメージ)
- 第9回 配色の研究①
- 第10回 配色の研究②
- 第11回 色彩と構成①(パターンデザイン)
- 第12回 色彩と構成②(パターンデザイン)
- 第13回 色彩と構成③(パターンデザイン)
- 第14回 色彩と構成④(パターンを用いた糸綴じノートブックのデザイン)
- 第15回 色彩と構成⑤(パターンを用いた糸綴じノートブックのデザイン)

■教科書： カラーマスターBASIC 配色カード158a

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 新明 史子 (非常勤講師)
実務経験： オリジナル絵本の制作ユニットを主催し、本の企画提案・グラフィックデザイン・テキスト制作・製本等に携わっている。

科目名 : **基礎造形Ⅱ**

履修形態： 必修
授業形態： 講義＋演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 30時間
単 位： 1単位

■科目概要： 平面から立体へ展開しながら、紙という材料の基本的な加工方法や、その特性、紙を使った造形の可能性を学ぶ。素材や資料の研究、アイデアを形にするための積極的な実行力や企画力、的確な計画性などの重要性を理解する。

■到達目標： 1: 紙の基本的な加工方法・紙の目・厚さ・種類等の特性を知り適切な紙を選べる。
2: 基本的な製本技術を覚え、オリジナルの本づくりを通して企画力・表現力を養う。
3: もの作りの本質を考え、表現の幅を広げながら丁寧な手作業が出来る。

■授業計画：

- 第1回 色彩と構成⑤(パターンを用いた糸綴じノートブックのデザイン)
- 第2回 ハードカバーのノートブック
- 第3回 紙の造形①(モバイル)
- 第4回 紙の造形②(モバイル)
- 第5回 紙の造形③(モバイル)
- 第6回 紙の造形④(モバイル)
- 第7回 ブックデザイン①(紙を活かした視覚的に美しいデザインの本を考える)
- 第8回 ブックデザイン②(ページ数・大きさ・製本方法等を考え試作を作る)
- 第9回 ブックデザイン③(試作をもとに本文を制作)
- 第10回 ブックデザイン④(試作をもとに本文を制作)
- 第11回 ブックデザイン⑤(試作をもとに本文を制作)
- 第12回 ブックデザイン⑥(美しさと強度を両立させた製本)
- 第13回 ブックデザイン⑦(美しさと強度を両立させた製本)
- 第14回 ブックデザイン⑧(美しさと強度を両立させた製本)
- 第15回 プレゼンテーション、講評

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：碓井 雅博 (非常勤講師)
実務経験：広告代理店でクリエイティブディレクターとして勤務。多くの企業、自治体などのTVCM、CI、広告キャンペーンを手掛ける。

科目名： **コンセプトメイキング**

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：1年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要：表現する技術を取得する前に身に付けておきべきデザインの本質的な価値や機能を学ぶ。クリエイティビティの幅を広げるための多角的な視点を得る。

■到達目標：1: デザインという仕事の多面性、広範性を理解し、デザインの意義や価値を見出すことが出来る視点をマインドを持てるようになる。
2: デザインとの関わり方を自己探索する。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 デザインってなんだ①(デザインとは何か、デザイナーとは何か)
- 第3回 デザインってなんだ②(デザインの収集、批評、共有)
- 第4回 デザインってなんだ③(デザインを言葉で表現する)
- 第5回 デザインってなんだ④(コンセプトとは何か)
- 第6回 デザインをはじめよう①(デザインと広告の関係、デザインと社会の関係、デザインと人との関係)
- 第7回 デザインをはじめよう②(実習)
- 第8回 デザインをはじめよう③(実習)
- 第9回 デザインをはじめよう④(プレゼンテーション、講評)
- 第10回 プロジェクト①(調査・インプット)
- 第11回 プロジェクト②(コンセプトメイキング)
- 第12回 プロジェクト③(実習)
- 第13回 プロジェクト④(実習)
- 第14回 プロジェクト⑤(実習)
- 第15回 プロジェクト⑥(プレゼンテーション、講評)

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 小田 啓介 (非常勤講師)
実務経験： フリーのイラストレーター。グラフィックデザイナー、webデザイナーとしても活動。現・北海道イラストレーターズクラブアルファ会長・北海道版画協会会員。

科目名： **デッサン**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要： 最も重要な基本的技術であるデッサン力を学ぶ。繰り返しデッサンを描くことで必要なさまざまな技術、特にグラフィックデザイナーに必要な「観察力」を養う。決められた時間でモチーフ、モデルを観察して素描するクローキーを通じて、物事を観察し、理解し、言語化できることを目指す。

■到達目標： 平面表現の基本である、輪郭補助線と面の関係、陰影、質感、量感、遠近法などを理解して、人に意図が伝わるデッサン表現ができる。またデッサン力の重要性を認識し、その能力を自分自身の力で今後も伸ばしていける、基礎力を身につける。

■授業計画：

- 第1回 グラフィックにおけるデッサンの重要性、また基本的理論と技法について
- 第2回 人物クローキー①
- 第3回 静物デッサン①(直方体)
- 第4回 静物デッサン①(直方体)
- 第5回 人物クローキー②
- 第6回 静物デッサン②(円柱)
- 第7回 静物デッサン②(円柱)
- 第8回 人物クローキー③
- 第9回 静物デッサン①(白と黒のモチーフを描く)
- 第10回 静物デッサン②(白と黒のモチーフを描く)
- 第11回 静物デッサン③(白と黒のモチーフを描く)
- 第12回 人物クローキー④
- 第13回 静物デッサン①(自分でモチーフを選び描く)
- 第14回 静物デッサン②(自分でモチーフを選び描く)
- 第15回 静物デッサン③(自分でモチーフを選び描く)

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 山本 睦子 (非常勤講師)
実務経験： 広告制作プロダクションでアートディレクター・グラフィックデザイナーとして全国展開のファッションビル・企業・高等教育機関等のアドバタイジングデザインを担当。

科目名 : **グラフィック基礎 I**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1 年次
開講学期： 前期
授業時数： 60 時間
単 位： 2 単位

- 科目概要：
- 1: デザイン道具の正しい使い方を知る
 - 2: グラフィックデザインの構成要素を使つての演習により「基礎知識」と「表現方法」を身につける
 - 3: アートプログラムを用いた造形表現を楽しむ、思考の柔軟性を高める
 - 4: 文字情報の扱い方のスキル定着を図る
- 到達目標：
- 1: 情報やメッセージを伝える方法を3点以上発想することができ、アイデアを可視化することができる
 - 2: デザインを表現、定着させるための基礎的手作業を行うことができる

■授業計画：

- | | |
|------|--|
| 第1回 | オリエンテーション |
| 第2回 | デザイン道具を使つてみる(ペーパークラフトによるアドカーの制作①) |
| 第3回 | デザイン道具を使つてみる(ペーパークラフトによるアドカーの制作②) |
| 第4回 | デザインの基礎知識にふれる(アナログ造形表現①) |
| 第5回 | デザインの基礎知識にふれる(アナログ造形表現②) |
| 第6回 | 基礎的表現力と技術力をつける I (文字をアイコン化・カフェブランドスリーブ制作①) |
| 第7回 | 基礎的表現力と技術力をつける I (文字をアイコン化・カフェブランドスリーブ制作②) |
| 第8回 | 基礎的表現力と技術力をつける I (文字をアイコン化・カフェブランドスリーブ制作③) |
| 第9回 | 基礎的表現力と技術力をつける I (文字をアイコン化・カフェブランドスリーブ制作④) |
| 第10回 | 基礎的表現力と技術力をつける I (文字をアイコン化・カフェブランドスリーブ制作⑤) |
| 第11回 | 基礎的表現力と技術力をつける I (文字をアイコン化・カフェブランドスリーブ制作⑥) |
| 第12回 | 基礎的表現力と技術力をつける I (文字をアイコン化・カフェブランドスリーブ制作⑦) |
| 第13回 | 基礎的表現力と技術力をつける II (オリジナル素材を使ったコラージュ①) |
| 第14回 | 基礎的表現力と技術力をつける II (オリジナル素材を使ったコラージュ②) |
| 第15回 | 基礎的表現力と技術力をつける II (オリジナル素材を使ったコラージュ③) |

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：堀 じゅん子 (非常勤講師)
実務経験：グラフィックデザイナー・イラストレーターとして広告代理店に勤務後独立し、
デザイン制作会社経営

科目名 : **グラフィック基礎Ⅱ**

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：1年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要：造形要素の特性を把握し、プロポーションやコンポジション、シンメトリー等造形要素がもたらす秩序と配色調和について学ぶ。後半では制作物の目的やターゲット層を意識しながら、前半の学びを応用した課題制作に取り組む。

■到達目標：
1: 点・線・面など造形の基本的な構成要素について理解している
2: 黄金比を活用した面分割による画面構成の効果について理解している
3: 与えられたテーマについて、目的や伝える相手を意識しながらイメージを可視化する方法を工夫出来る
4: 制作物と提案内容についてわかりやすくまとめ、第三者へプレゼンテーションできる

■授業計画：

- 第1回 構成の要素①(点・線による構成)
- 第2回 構成の要素①(点・線による構成)
- 第3回 構成の要素②(面による構成)
- 第4回 構成の要素②(面による構成)
- 第5回 構成の要素②(面による構成)
- 第6回 構成の秩序(リズムとルール)
- 第7回 デザイン概論①(デザイン史と表現の多様性)
- 第8回 デザイン概論②(視覚と心理)
- 第9回 デザイン概論③(シンボライズ)
- 第10回 PRポスター①(コンペ課題)
- 第11回 PRポスター②(コンペ課題)
- 第12回 PRポスター③(コンペ課題)
- 第13回 PRポスター④(コンペ課題)
- 第14回 PRポスター⑤(コンペ課題)
- 第15回 PRポスター⑥(コンペ課題)

■教科書：

■参考書： 構成学のデザイントレーニング、デザイナーズハンドブックレイアウト編

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 曾澤 浩一 (非常勤講師)
実務経験： 広告制作会社を営み、自身もグラフィックデザイナーとして広告制作を手掛けている。

科目名 : **印刷・レイアウト基礎**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要： 単色印刷からフルカラー印刷まで、演習課題を通じて文字組とレイアウトの基礎テクニックを習得しながら、ひとつの印刷物が出来上がるまでのワークフローを理解する。

■到達目標：
1: ビジュアルと文字を組み合わせながら、全体をバランス良く配置できる
2: 印刷の基礎知識を身に付けると共に、印刷物制作のワークフロー・係るスタッフの関係性を理解している
3: 必要に応じてアプリケーションを選択し、アナログ作業も活かしたデザインができる

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション、自己紹介・イメージトレーニング
- 第2回 印刷概論 レイアウト基礎 I (1C印刷による制作物)
- 第3回 印刷概論 レイアウト基礎 I (1C印刷による制作物)
- 第4回 クライアントワーク①(コンペ課題)
- 第5回 クライアントワーク②(コンペ課題)
- 第6回 クライアントワーク③(コンペ課題)
- 第7回 PRポスター①
- 第8回 PRポスター①
- 第9回 レイアウト基礎①(4C印刷による冊子制作)
- 第10回 レイアウト基礎②(4C印刷による冊子制作)
- 第11回 レイアウト基礎③(4C印刷による冊子制作)
- 第12回 レイアウト基礎④(4C印刷による冊子制作)
- 第13回 レイアウト基礎⑤(4C印刷による冊子制作)
- 第14回 レイアウト基礎⑥(5C印刷による冊子制作)
- 第15回 プレゼンテーション、講評

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 和田 夏美 (専任教員)
実務経験： 広告制作会社、印刷会社のクリエイティブ部門でグラフィックデザイナーとして勤務後、スポーツイベント企画運営会社にてデジタル媒体の企画・制作などを担当。

科目名 : **DTP演習 I**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要： 1: アプリケーションの特性・基本的な操作方法、デジタルデータの基礎知識や管理の方法を学ぶ
2: IllustratorとPhotoshopの特性の理解・役割の把握・連動させた操作など、反復練習でスキルの習得を目指す。

■到達目標： 1: アプリケーションの特性、基本的な操作方法を理解して使うことが出来る
2: 作業手順を段取り良く組み立て、効率よく作業をすることが出来る

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション
DTPに必要な基礎知識、室内設備・使用時のルール 等
- 第2回 Illustratorの基本操作を覚える①(図形の作成、カラーパレットの使い方)
- 第3回 Illustratorの基本操作を覚える②(オブジェクトの操作・変形・編集、文字)
- 第4回 Illustratorの基本操作を覚える③(線を描く、レイヤー、文字)
- 第5回 Illustratorの基本操作を覚える④(印刷を前提としたデータの作り方)
- 第6回 Illustratorの基本操作を覚える⑤(印刷を前提としたデータの作り方)
- 第7回 Illustratorの応用操作を覚える
- 第8回 コンペ課題①(年賀状)
- 第9回 コンペ課題②(年賀状)
- 第10回 コンペ課題③(年賀状)
- 第11回 コンペ課題④(年賀状)
- 第12回 コンペ課題⑤(年賀状)
- 第13回 Photoshopの基本操作を覚える①(デジタルデータの仕組み、画像補正①)
- 第14回 Photoshopの基本操作を覚える②(デジタルデータの仕組み、画像補正②)
- 第15回 Photoshopの基本操作を覚える③(デジタルデータの仕組み、画像補正③)

■教科書： 『世界一わかりやすいIllustrator操作とデザインの教科書』
『世界一わかりやすいPhotoshop操作とデザインの教科書』

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 長谷川 かおり (専任教員)
実務経験： 広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務。ポスターや新聞広告、パンフレット、パッケージデザインなど様々な印刷物の制作を担当。

科目名 : **基礎デザイン I**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1 年次
開講学期： 前期
授業時数： 60 時間
単 位： 2 単位

■科目概要： グラフィックデザインの重要な構成要素である「文字」について基礎知識から実践までを理解する。文字の歴史やレタリング・タイポグラフィの基礎知識、技術基礎、書体(フォント)の種類とイメージについて広く学びながらリサーチ力や応用力を身につける。また、アナログからデジタルまでの一連の流れを理解する。

■到達目標： 1: グラフィックデザインにおける「文字」の重要性や多様性について理解している
2: 基本的な造形力や書体の選択力を身に付け、紙面構成や媒体に合わせた書体選択ができる
3: プレゼンテーションを通じて相手に制作意図を的確に伝えることができる

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション・自己表現
- 第2回 自己表現・プレゼンテーション
- 第3回 文字(フォント)に関する基礎知識・演習
- 第4回 フォントイメージの分類・分析
- 第5回 タイポグラフィ基礎、タイポグラフィ I (文字あそび)①
- 第6回 タイポグラフィ I (文字あそび)②
- 第7回 タイポグラフィ I (文字あそび)③
- 第8回 タイポグラフィ I (タイポグラフィ表現)①
- 第9回 タイポグラフィ I (タイポグラフィ表現)②
- 第10回 タイポグラフィ I (タイポグラフィ表現)③
- 第11回 タイポグラフィ I (タイポグラフィ表現)④
- 第12回 タイポグラフィ II (オリジナルフォントデザイン)①
- 第13回 タイポグラフィ II (オリジナルフォントデザイン)②
- 第14回 タイポグラフィ II (オリジナルフォントデザイン)③
- 第15回 タイポグラフィ II (オリジナルフォントデザイン)④

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 浅野 ルリ子 (非常勤講師)
実務経験： フリーランスイラストレーターとして、パンフレット・ポスター・装丁等広告物のイラストレーション制作を手掛ける。

科目名 : **ビジュアル表現**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1 年次
開講学期： 前期
授業時数： 60 時間
単 位： 2 単位

■科目概要： 各種画材(水性色鉛筆、パステル、ガッシュ、マーカー)の基礎的な知識と使い方を学び、その中からそれぞれの画材の持つ印象を理解し、イメージに合わせた画材選びを工夫する。デジタルとは異なる表現方法を研究し、様々な課題制作に応用できる自由な発想力を身に付ける。

■到達目標：
1: 画材の基本的な使い方とそれぞれの画材が与える印象を理解する。
2: 手作業の持つ面白さや表現の強さを感じ取り、デジタルとは違う魅力を理解する
3: 道具の扱い方や後始末など、丁寧な作業が習慣的にできる

■授業計画：

- 第1回 課題①(水彩色鉛筆による表現)
- 第2回 課題①(水彩色鉛筆による表現)
- 第3回 課題②(パステルによる表現)
- 第4回 課題②(パステルによる表現)
- 第5回 課題②(パステルによる表現)
- 第6回 課題③(アクリルガッシュによる表現と絵本制作)
- 第7回 課題③(アクリルガッシュによる表現と絵本制作)
- 第8回 課題③(アクリルガッシュによる表現と絵本制作)
- 第9回 課題④(マーカーを用いたキャラクターデザイン)
- 第10回 課題⑤(紙粘土を用いたキャラクターデザインの立体化)
- 第11回 課題⑤(紙粘土を用いたキャラクターデザインの立体化)
- 第12回 課題⑤(紙粘土を用いたキャラクターデザインの立体化)
- 第13回 課題⑤(紙粘土を用いたキャラクターデザインの立体化)
- 第14回 課題⑤(紙粘土を用いたキャラクターデザインの立体化)
- 第15回 課題⑤(紙粘土を用いたキャラクターデザインの立体化)

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 山本 睦子 (非常勤講師)
実務経験： 広告制作プロダクションでアートディレクター・グラフィックデザイナーとして全国展開のファッションビル・企業・高等教育機関等のアドバタイジングデザインを担当。

科目名 : **グラフィック演習**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

- 科目概要：
- 1: 実践的課題演習により前期で身に付けた基礎的表現力や技術力をさらに高める
 - 2: 文字情報の扱い方スキルアップ
 - 3: 完成までの工程を自己管理し定着できる実力をつける

- 到達目標：
- 情報やメッセージを伝達するための工夫を行い、ビジュアル、文字、色彩、レイアウトなどを考え、手作業とデジタルの両面で定着することができる

■授業計画：

- 第1回 基礎的表現力と技術力をつけるⅡ(オリジナル素材を使ったコラージュ④)
- 第2回 実践的表現力と技術力を身につけるⅠ(メッセージポスター)
- 第3回 実践的表現力と技術力を身につけるⅠ(メッセージポスター)
- 第4回 実践的表現力と技術力を身につけるⅠ(メッセージポスター)
- 第5回 実践的表現力と技術力を身につけるⅠ(メッセージポスター)
- 第6回 実践的表現力と技術力を身につけるⅡ(イベント告知ポスター)
- 第7回 実践的表現力と技術力を身につけるⅡ(イベント告知ポスター)
- 第8回 実践的表現力と技術力を身につけるⅡ(イベント告知ポスター)
- 第9回 実践的表現力と技術力を身につけるⅡ(イベント告知ポスター)
- 第10回 実践的表現力と技術力を身につけるⅡ(イベント告知ポスター)
- 第11回 実践的表現力と技術力を身につけるⅡ(イベント告知ポスター)
- 第12回 プレゼンテーション、講評
- 第13回 進級制作課題(イベント告知ポスター)
- 第14回 進級制作課題(イベント告知ポスター)
- 第15回 進級制作課題(イベント告知ポスター)

■教科書：

■参考書：

- 成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 長谷川 かおり (専任教員)
実務経験： 広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務。ポスターや新聞広告、パンフレット、パッケージデザインなど様々な印刷物の制作を担当。

科目名 : **基礎デザインⅡ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 30時間
単 位： 1単位

■科目概要： 前期で習得した「文字」の基礎知識と技術を踏まえ、基本エレメントを意識したデザインへ展開(フォントデザイン)。グラフィックデザインにおける記号(単化形成、ピクトグラム、シンボルマーク等)の社会的な役割・必要性や制作プロセスを理解し、演習課題を通じて表現力を強化する。

■到達目標： 1:「文字」の基礎知識や柔軟な発想力を発揮し、完成度の高い作品を仕上げられる
2:プレゼンテーションで相手に制作意図を的確に伝えることが出来る

■授業計画：

- | | | |
|------|------------------|---------------------|
| 第1回 | グラフィックデザインにおける記号 | 単価表現Ⅰ(オリジナル家紋) |
| 第2回 | グラフィックデザインにおける記号 | 単価表現Ⅰ(オリジナル家紋) |
| 第3回 | グラフィックデザインにおける記号 | 単価表現Ⅰ(オリジナル家紋) |
| 第4回 | グラフィックデザインにおける記号 | 単価表現Ⅱ(モノグラム) |
| 第5回 | グラフィックデザインにおける記号 | 単価表現Ⅱ(モノグラム) |
| 第6回 | グラフィックデザインにおける記号 | 単価表現Ⅱ(モノグラム) |
| 第7回 | グラフィックデザインにおける記号 | 単価表現Ⅲ(ピクトグラム) |
| 第8回 | グラフィックデザインにおける記号 | 単価表現Ⅲ(ピクトグラム) |
| 第9回 | グラフィックデザインにおける記号 | 単価表現Ⅲ(ピクトグラム) |
| 第10回 | グラフィックデザインにおける記号 | 単価表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ プレゼンテーション |
| 第11回 | コンペ対応課題 | |
| 第12回 | コンペ対応課題 | |
| 第13回 | コンペ対応課題 | |
| 第14回 | コンペ対応課題 | |
| 第15回 | コンペ対応課題 | |

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 木野村 博人 (非常勤講師)
実務経験： 広告制作会社、印刷会社デザイン部にグラフィックデザイナーとして勤務したのち独立。主にグラフィックデザイン・ブックエディトリアル・パッケージ・CI・サイン等を手掛けている。

科目名 : **広告デザイン演習 I**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1 年次
開講学期： 後期
授業時数： 60 時間
単 位： 2 単位

■科目概要： 感覚的なものも大事にしつつ、基本的なルールを踏まえたうえで、情報の整理やレイアウトの効果を意識して、見る人に働きかける広告物について考察する。また企業連携によるクライアントワークに取り組み、入稿用データの作り方等、実践的なスキルを高める。

■到達目標： 1: コピー・文字情報・色・書体等の細かな作業を丁寧に行うことができる。
2: パターンやルールを覚え、どのような環境でも素早く作業を進められる。
3: 入稿用データの基本的なルールを理解してDTP作業ができる。

■授業計画：

- 第1回 企業連携課題：イベント告知ポスター（アイデア出しと打合せ）
- 第2回 企業連携課題：イベント告知ポスター（オリエンテーション）
- 第3回 企業連携課題：イベント告知ポスター（実制作）
- 第4回 企業連携課題：イベント告知ポスター（実制作）
- 第5回 企業連携課題：イベント告知ポスター（実制作）
- 第6回 企業連携課題：イベント告知ポスター（実制作）
- 第7回 企業連携課題：イベント告知ポスター（デザインチェック）
- 第8回 企業連携課題：イベント告知ポスター（デザイン最終チェック）
- 第9回 企業連携課題：イベント告知ポスター（デザイン最終修正、仕上げ）
- 第10回 企業連携課題：イベント告知ポスター（プレゼンテーション）
- 第11回 新聞広告制作①
- 第12回 新聞広告制作②
- 第13回 新聞広告制作③
- 第14回 新聞広告制作④
- 第15回 新聞広告制作⑤

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 曾澤 浩一 (非常勤講師)
実務経験： 広告制作会社を営み、自身もグラフィックデザイナーとして広告制作を手掛けている。

科目名 : **印刷・レイアウト演習**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

- 科目概要： デジタル入稿による小冊子制作演習を通じて、文字組とレイアウトの強化を図り、正しい情報の選択とリサーチや取材力を身に付ける。校正記号や入稿プロセスを学習し、適切な入稿用データを作れるようにする。広告ツール制作では、デジカメ撮影を行い、立体的な構図を意識させ効果的な広告を作れるように学習する。
- 到達目標：
- 1: 印刷物の制作プロセスを理解しデジタル入稿に必要なスキルが身に付いている。
 - 2: チーム作業を通じて、最後まで責任をもって担当作業に臨むことができる。
 - 3: ビジュアルや文字をバランス良くレイアウトできる。
 - 4: クライアントやターゲットに沿った企画立案ができる。

■授業計画：

- | | |
|------|---|
| 第1回 | 演習Ⅱ 小冊子制作①(チームミーティング①) |
| 第2回 | 演習Ⅱ 小冊子制作②(チームミーティング②) |
| 第3回 | 演習Ⅱ 小冊子制作③(ラフ制作・企画とレイアウトのチェック) |
| 第4回 | 演習Ⅱ 小冊子制作④(情報収集・取材・撮影) |
| 第5回 | 演習Ⅰ 広告ツール制作①(撮影した写真に効果的なコピーや文字情報をレイアウト) |
| 第6回 | 演習Ⅰ 広告ツール制作②(撮影した写真に効果的なコピーや文字情報をレイアウト) |
| 第7回 | 演習Ⅱ 小冊子制作⑤(情報収集・取材・撮影) |
| 第8回 | 演習Ⅱ 小冊子制作⑥(情報収集・取材・撮影・データ制作) |
| 第9回 | 演習Ⅱ 小冊子制作⑦(データ制作・デザインチェック) |
| 第10回 | 演習Ⅱ 小冊子制作⑧(データ制作・デザインチェック・初校) |
| 第11回 | 演習Ⅱ 小冊子制作⑨(初校戻し・データ修正) |
| 第12回 | 演習Ⅱ 小冊子制作⑩(データ修正・チェック・再校) |
| 第13回 | 演習Ⅱ 小冊子制作⑪(再校戻し・最終修正) |
| 第14回 | 演習Ⅱ 小冊子制作⑫(最終修正・校正) |
| 第15回 | 演習Ⅱ 小冊子制作⑬(入稿用データ完成・出力紙とデータを提出) |

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 和田 夏美 (専任教員)
実務経験： 広告制作会社、印刷会社のクリエイティブ部門でグラフィックデザイナーとして勤務後、スポーツイベント企画運営会社にてデジタル媒体の企画・制作などを担当。

科目名 : **DTP演習Ⅱ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 30時間
単 位： 1単位

- 科目概要：
- 1: IllustratorやPhotoshopのアプリケーション操作、データ管理の熟知
 - 2: 検定受験や進級制作に向けた知識と技術のスキルアップ
 - 3: 第三者が閲覧・操作しても分かりやすいデジタルデータの制作、データの管理が出来る

- 到達目標：
- 1: 進級制作に向けて自分のやりたい表現がアプリケーションを使って制作することが出来る
 - 2: 印刷に対応するデータを作ることが出来る。
 - 3: Illustrator・Photoshop検定試験の受験者全員合格

■授業計画：

- | | |
|------|---|
| 第1回 | Illustrator・Photoshopの復習
Photoshopの重要機能や弱点部分の強化 |
| 第2回 | Illustrator・Photoshopの復習
Photoshopの重要機能や弱点部分の強化 |
| 第3回 | Illustrator・Photoshopの復習
Photoshopの重要機能や弱点部分の強化 |
| 第4回 | 検定試験問題集を使用した各操作のトレーニング |
| 第5回 | 検定試験問題集を使用した各操作のトレーニング |
| 第6回 | 演習課題(画像と文字を配置したレイアウト・文字情報のまとめ方・表紙・タイトルロゴ・ビジュアルの表現方法・入稿用データ制作・データチェック) |
| 第7回 | 演習課題(画像と文字を配置したレイアウト・文字情報のまとめ方・表紙・タイトルロゴ・ビジュアルの表現方法・入稿用データ制作・データチェック) |
| 第8回 | 演習課題(画像と文字を配置したレイアウト・文字情報のまとめ方・表紙・タイトルロゴ・ビジュアルの表現方法・入稿用データ制作・データチェック) |
| 第9回 | 演習課題(画像と文字を配置したレイアウト・文字情報のまとめ方・表紙・タイトルロゴ・ビジュアルの表現方法・入稿用データ制作・データチェック) |
| 第10回 | 検定試験問題集を使用した各操作のトレーニング |
| 第11回 | 検定試験問題集を使用した各操作のトレーニング |
| 第12回 | 検定試験問題集を使用した各操作のトレーニング |
| 第13回 | 検定試験問題集を使用した各操作のトレーニング |
| 第14回 | 検定試験問題集を使用した各操作のトレーニング |
| 第15回 | 検定試験問題集を使用した各操作のトレーニング |

- 教科書：
- 『世界一わかりやすいIllustrator操作とデザインの教科書』
『世界一わかりやすいPhotoshop操作とデザインの教科書』

■参考書：

- 成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 高橋 朋代 (非常勤講師)
実務経験： Web制作会社にWebデザイナー・ディレクターとして勤務したのち独立。主にUI設計・デザイン・WordPress構築に携わっている他、入門者向け書籍の執筆活動も行っている。

科目名 : **Webデザイン I**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 30時間
単 位： 1単位

■科目概要： HTML/CSSを使ったコーディングの基礎を習得する。また、さまざまなWebサイトに触れ、Webデザインならではの仕組みや特徴を理解する。ピクセルや解像度、RGBカラーなどディスプレイの仕組みを理解する。PCやスマートフォン、タブレットなどの様々なデバイスに対応したWebデザインの考え方を学ぶ。

■到達目標： 1: IllustratorやPhotoshopなどのアプリケーションで、バナーやアイキャッチ画像、ヒーローイメージなどのWeb用画像を作成できる
2: HTML/CSSコーディングの基礎を理解し、簡単なコーディングができる

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション 身近なインターネットとWeb
- 第2回 ピクセルと解像度 HTML基礎 課題1:バナー制作
- 第3回 HTML基礎 Web用画像の保存形式
- 第4回 課題1:デザインレビュー HTML基礎
- 第5回 課題2:バナー作成2
- 第6回 効率的なHTMLページの作成
- 第7回 課題2デザインレビュー
- 第8回 CSS基礎
- 第9回 課題3:アイキャッチ画像作成
- 第10回 CSS基礎とWebページの装飾
- 第11回 課題3デザインレビュー、モバイル対応
- 第12回 課題4:ヒーローイメージ作成
- 第13回 Webサイト作成レビュー
- 第14回 課題4デザインレビュー
Webサイト作成サービス
- 第15回 進級制作準備

■教科書： これからはじめるHTML & CSSの本

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 小森 学 (非常勤講師)
実務経験： カメラマンとして商業写真撮影スタジオ勤務数社を経て独立。主に広告写真撮影、人物写真撮影等を手掛けている。

科目名 : **撮影基礎**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 30時間
単 位： 1単位

■科目概要： 一眼レフカメラの基本操作と撮影の基礎を学び、各自のクリエイティブワークへ活かす。写真をヴィジュアルとする場合の画面構成や人物の配置、表情の重要性を学びより実践的な表現力を習得する。

■到達目標： 1: 一眼レフカメラの基本操作と簡易的な照明を用いた撮影ができる
2: 自分の求めるクリエイティブワークに写真表現を取り入れ表現領域を広げる

■授業計画：

- 第1回 撮影基礎①(屋内外での撮影、露出・シャッタースピード・絞り)
- 第2回 撮影基礎②(屋内外での撮影、露出・シャッタースピード・絞り)
- 第3回 撮影基礎③(ストロボ・ランプを使用した撮影実習)
- 第4回 撮影基礎④(ストロボ・ランプを使用した撮影実習)
- 第5回 写真表現①(自由撮影、ライティング・構成・背景)
- 第6回 写真表現②(自由撮影、ライティング・構成・背景、レタッチ実習)
- 第7回 商品撮影実習①(商品撮影、ライティング・構成・背景)
- 第8回 商品撮影実習②(商品撮影、ライティング・構成・背景)
- 第9回 人物撮影実習①(撮影実習のデータを見ながらディスカッション)
- 第10回 人物撮影実習②(事前に考えたラフを元に、ライティング・構成・背景)
- 第11回 商品広告撮影実習(ラフをもとに商品や小物をライティング、背景を構成する)
- 第12回 人物写真広告撮影実習①(企業・ブランドなどを想定し人物写真で広告を制作)
- 第13回 人物写真広告撮影実習②(企業・ブランドなどを想定し人物写真で広告を制作)
- 第14回 人物写真広告撮影実習③(企業・ブランドなどを想定し人物写真で広告を制作)
- 第15回 ディスカッション・合評会

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 高橋 美絵 (専任教員)
実務経験： 大手印刷会社の包装開発部門で、ディレクターとして勤務。商品企画およびパッケージデザインのアートディレクションに携わる。JPDA(日本パッケージデザイン協会)会員。

科目名 : **パッケージデザインⅠ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 30時間
単 位： 1単位

■科目概要： 市場に出回っているパッケージには、どのような種類(構造・包装材料・印刷方式等)と機能(情報伝達・商品保護・可搬性等)があるのか学習し、パッケージデザインが消費者に対して果たしている役割について理解する。またパッケージデザインを構成している要素とその役割について意識を高める。

■到達目標： 1: 代表的なパッケージの種類について、身の回りにある商品から具体的な事例を探ることができる。
2: パッケージデザインが果たす店頭広告としての役割、イメージ戦略的效果について理解している。
3: 商品の魅力を伝える情報を精査し、可視化するアイデアを出すことができる。

■授業計画：

- 第1回 概論1: パッケージの種類と機能(事例研究)
- 第2回 概論2: パッケージデザインの構成要素。商品企画とデザイン①(リサーチ)
- 第3回 商品企画とデザイン②(企画立案)
- 第4回 商品企画とデザイン③(実制作)
- 第5回 商品企画とデザイン④(プレゼンテーション)
- 第6回 SHOPツールのデザイン①(基本ユニットとタイリング、イメージボード)
- 第7回 SHOPツールのデザイン②(基本ユニットの展開)
- 第8回 SHOPツールのデザイン③(包装紙、ショッパー)
- 第9回 SHOPツールのデザイン④(基本的な函の構造と展開図)
- 第10回 SHOPツールのデザイン⑤(ギフトボックス)
- 第11回 地域の魅力を伝える①(事例研究、地元商材のリサーチ)
- 第12回 地域の魅力を伝える②(商材の魅力探求)
- 第13回 地域の魅力を伝える③(商品企画案作成)
- 第14回 地域の魅力を伝える④(情報の可視化と構造化)
- 第15回 地域の魅力を伝える⑤(企画提案書)

■教科書：

■参考書： 『売れるパッケージデザイン150の鉄則』『パッケージデザインの入り口』

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 菊地 和広 (非常勤講師)
実務経験： 大手印刷会社・広告代理店・デザインプロダクションでアートディレクター・グラフィックデザイナーとして勤務したのち独立。グラフィックデザイン全般に携わっている。

科目名 : **グラフィック表現テクニック**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 2年次
開講学期： 前期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要： アートディレクター・グラフィックデザイナーにとって重要視される「独創性」「着眼点」に対し、「表現」というフィルターを通すことで感性を磨くと共に、各自が秘めている可能性を見つけ出す。

■到達目標： ささまざまな「表現」に見る・触れる、かつオリジナルの「表現」を作る・見せることで、独自の感性を発見する

■授業計画：

- 第1回 学外展示用グラフィック制作(ポスター①)
- 第2回 学外展示用グラフィック制作(ポスター②)
- 第3回 学外展示用グラフィック制作(ポスター③)
- 第4回 学外展示用グラフィック制作(ポスター④、ガリ版作品①)
- 第5回 学外展示用グラフィック制作(ガリ版作品②)
- 第6回 学外展示用グラフィック制作(ZINE①)
- 第7回 学外展示用グラフィック制作(ZINE②)
- 第8回 JAGDA学生グランプリ 応募作品制作①(B1ポスター)
- 第9回 JAGDA学生グランプリ 応募作品制作②(B1ポスター)
- 第10回 学外展示 会場搬入・展示作業
- 第11回 JAGDA学生グランプリ 応募作品制作③(B1ポスター)
- 第12回 JAGDA学生グランプリ 応募作品制作④(B1ポスター)
- 第13回 JAGDA学生グランプリ 応募作品制作⑤(B1ポスター)
- 第14回 文字の演習①
- 第15回 文字の演習②

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 高橋 幸子 (非常勤講師)
実務経験： フリーランスのアートディレクター・グラフィックデザイナー。主にアーティストやバンドのツアーグッズ等の商品企画およびアートディレクション・グラフィックデザインを担当。

科目名 : **インフォメーションデザイン**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 2 年次
開講学期： 前期
授業時数： 60 時間
単 位： 2 単位

■科目概要： (1)コミュニケーションツールとして、インフォグラフィックスを用いて自己表現する
(2)複雑な情報を整理・分析し、他社に分かりやすく伝えるための表現方法を学ぶ
(3)編集やレイアウトの工夫で、より効果的に伝達する方法を学ぶ

■到達目標： (1)伝えたい情報を可視化する力を養う
(2)収集した情報を整理する力と、さまざまなインフォグラフィックスの特性を理解し、コンセプトに沿ったビジュアルで表現する力を養う
(3)効果的に伝達する表現力を身につける

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 インフォグラフィックスによる自己表現①(自己紹介インフォグラフィックス制作)
- 第3回 インフォグラフィックスによる自己表現②(インフォグラフィックスを用いて自己紹介)
- 第4回 情報の整理・分析・表現①(企画・情報収集)
- 第5回 情報の整理・分析・表現②(打ち合わせ・ラフ制作)
- 第6回 情報の整理・分析・表現③(ラフチェック・実制作)
- 第7回 情報の整理・分析・表現④(実制作)
- 第8回 情報の整理・分析・表現⑤(実制作)
- 第9回 情報の整理・分析・表現⑥(仕上げ・提出)
- 第10回 情報の編集①(レイアウト・ラフ制作)
- 第11回 情報の編集②(レイアウト・実制作)
- 第12回 情報の編集③(実制作)
- 第13回 情報の編集④(実制作)
- 第14回 情報の編集⑤(仕上げ・提出)
- 第15回 情報の編集⑥(プレゼンテーション)

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 碓井 雅博 (非常勤講師)
実務経験： 広告代理店でクリエイティブディレクターとして勤務。多くの企業、自治体などのTVCM、CI、
広告キャンペーンを手掛ける。

科目名 : **コミュニケーションデザイン**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 2年次
開講学期： 前期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要： あらゆるデザインの前提になるのが「コミュニケーション」であることを踏まえ、1年時の「コンセプトメイキング」の授業をより実践的な形で継承することで、思考＞発見＞表現＞評価の一貫した作業を通じて、人とデザイン、社会とデザインの関わりを学習する

■到達目標： グラフィックだけにとどまらず、デザインという仕事の多面性、広範性を理解し、社会におけるデザインの意義や価値を見出すことができるような視点とマインドを持てるようになること。各人が卒業後の職業としてデザインとどう関わっていくかを模索し、意思決定することを目指す

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 問題解決のデザイン①(デザイナーの目でモノを見る)
- 第3回 問題解決のデザイン②(デザインの課題発見、改良、再構築)
- 第4回 問題解決のデザイン③(デザインの実践①)
- 第5回 問題解決のデザイン④(デザインの実践②)
- 第6回 問題解決のデザイン⑤(プレゼンテーション)
- 第7回 デザインと広告①(デザインのあり方を学ぶ)
- 第8回 デザインと広告②(実制作＞PDCA)
- 第9回 デザインと広告③(実制作＞PDCA)
- 第10回 デザインと広告④(プレゼンテーション＞講評)
- 第11回 コミュニケーションデザイン実習①(総合的なデザインの流れを学ぶ)
- 第12回 コミュニケーションデザイン実習②(オリエン、情報収集、コンセプトメイクなど)
- 第13回 コミュニケーションデザイン実習③(実制作)
- 第14回 コミュニケーションデザイン実習④(実作業、PDCA)
- 第15回 コミュニケーションデザイン実習⑤(プレゼンテーション、講評)

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 曾澤 浩一 (非常勤講師)
実務経験： 広告制作会社を営み、自身もグラフィックデザイナーとして広告制作を手掛けている。

科目名：

広告デザイン演習Ⅱ

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 2年次
開講学期： 前期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要： 課題制作を通じて、広告制作の現場が今必要としている人材を育成していく。広告とは何か？ということを変更してしっかりと理解し、実際の仕事におけるデザイナー・アートディレクターとして制作プロセスを学ぶ。

■到達目標： 1: コピーライティング・タイポグラフィ・撮影等、総合的な広告制作のノウハウやスキルが身に付いている。
2: 1つの着地点に対して多面的なアプローチが出来る。

■授業計画：

- 第1回 課題①: コピーライティングを意識したコンペ①
- 第2回 課題①: コピーライティングを意識したコンペ②
- 第3回 課題①: コピーライティングを意識したコンペ③(プレゼンテーション)
- 第4回 課題②: ショッピングバッグコンペ課題制作①(オリエンテーション、制作)
- 第5回 課題②: ショッピングバッグコンペ課題制作②(制作)
- 第6回 課題②: ショッピングバッグコンペ課題制作③(制作)
- 第7回 課題③: 企業連携・ポスター制作①(オリエンテーション)
- 第8回 課題③: 企業連携・ポスター制作②(実作業)
- 第9回 課題③: 企業連携・ポスター制作③(実作業)
- 第10回 課題③: 企業連携・ポスター制作④(実作業)
- 第11回 課題③: 企業連携・ポスター制作⑤(プレゼンテーション)
- 第12回 課題④: コンペ作品①(チェック)
- 第13回 課題④: コンペ作品②(実制作)
- 第14回 課題④: コンペ作品③(実制作)
- 第15回 課題④: コンペ作品④(実制作、応募に向けた準備)

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 木野村 博人 (非常勤講師)
実務経験： 広告制作会社、印刷会社デザイン部にグラフィックデザイナーとして勤務したのち独立。主にグラフィックデザイン・ブックエディトリアル・パッケージ・CI・サイン等を手掛けている。

科目名 : **DTP演習Ⅲ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 2年次
開講学期： 前期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要： 制作演習を通じてInDesignの基礎操作を学びながら、マージンや文字組に配慮したレイアウト力を強化する。小冊子制作では企画力の向上も図り、現場に即した制作のワークフローを学びながら、InDesignによる入稿を行う。

■到達目標：
1: 各アプリケーションの応用技術を身に付け、制作物に応じたソフトの選択ができる。
2: InDesignの基本操作と実践的なフィニッシュワークを理解し、オペレーション出来る。
3: 冊子制作の企画立案・取材・協働作業・校正の技術を身に付けている。
4: これまで身に付けた知識と技術を活かし、制作物の完成度を高めることが出来る。

■授業計画：

- 第1回 アプリケーション基礎①
(InDesignの基本操作・他のアプリケーションとの相違点・DTPのワークフロー)
- 第2回 アプリケーション基礎②(課題:チラシを作る)
- 第3回 アプリケーション基礎③(課題:コラムページをつくる①)
- 第4回 アプリケーション基礎④(課題:コラムページをつくる②)
- 第5回 アプリケーション基礎⑤(課題:縦組の書籍を作る)
- 第6回 アプリケーション基礎⑥(パンフレットをつくる①)
- 第7回 アプリケーション基礎⑦(パンフレットをつくる②)
- 第8回 アプリケーション基礎⑦(パンフレットをつくる③)
- 第9回 ブックレット制作①(オリエンテーション、企画立案、ページネーションとタイトル決定)
- 第10回 ブックレット制作②(取材)
- 第11回 ブックレット制作③(実制作作業)
- 第12回 ブックレット制作④(実制作作業)
- 第13回 ブックレット制作⑤(校正・データ修正)
- 第14回 ブックレット制作⑥(再校・データ修正)
- 第15回 ブックレット制作⑦(製本提出、プレゼンテーション)

■教科書： 世界一わかりやすいInDesign操作とデザインの教科書

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 長谷川 かおり、和田夏美 (専任教員)
実務経験： 長谷川：広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務
和田：広告制作会社、印刷会社にグラフィックデザイナーとして勤務

科目名： **DTP演習Ⅳ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 2年次
開講学期： 前期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要：
1: 一年次で習得したアプリケーションの応用、卒業制作に向けた入稿データ制作方法について学ぶ
2: 印刷に関する知識を深め、検定試験に対応した学習を通じてスキル定着を目指す
3: 就職活動用ポートフォリオ制作を通じて構成力や応用力を養う

■到達目標：
1: 印刷物となるデジタルデータについて、制作上の注意点をセルフチェック出来る
2: 制作物に応じて各種アプリケーションを組み合わせる事が出来る
3: 卒業制作や就職後、業務に対応出来る技術力・デザイン力・表現力が身についている

■授業計画：

- | | |
|------|--|
| 第1回 | PC設定及び動作確認、操作・ファイル管理などの再確認
コンペ課題 アイディアチェック及びデータ制作 |
| 第2回 | コンペ課題①(データ制作) |
| 第3回 | コンペ課題②(データ制作) |
| 第4回 | コンペ課題③(データ制作) |
| 第5回 | コンペ課題④(データ制作) |
| 第6回 | コンペ課題⑤(データ制作・データ仕上げ) |
| 第7回 | コンペ課題、検定対策・就職活動用ツール及びポートフォリオ作成 |
| 第8回 | コンペ課題、検定対策・就職活動用ツール及びポートフォリオ作成 |
| 第9回 | コンペ課題、検定対策・就職活動用ツール及びポートフォリオ作成 |
| 第10回 | コンペ課題、検定対策・就職活動用ツール及びポートフォリオ作成 |
| 第11回 | コンペ課題、検定対策・就職活動用ツール及びポートフォリオ作成 |
| 第12回 | コンペ課題、検定対策・就職活動用ツール及びポートフォリオ作成 |
| 第13回 | コンペ課題、検定対策・就職活動用ツール及びポートフォリオ作成 |
| 第14回 | 卒業制作 企画書制作、就職活動用ツール及びポートフォリオ作成 |
| 第15回 | 卒業制作 企画書制作、就職活動用ツール及びポートフォリオ作成 |

■教科書：

■参考書： 『世界一わかりやすいIllustrator操作とデザインの教科書』
『世界一わかりやすいPhotoshop操作とデザインの教科書』

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：高橋 朋代 (非常勤講師)
実務経験：Web制作会社にWebデザイナー・ディレクターとして勤務したのち独立。主にUI設計・デザイン・WordPress構築に携わっている他、入門者向け書籍の執筆活動も行っている。

科目名 : **WebデザインⅡ**

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要： Adobe XDを利用し、PC向け・スマートフォン向け、それぞれの画面サイズに適したWebページのデザインカンブを作成する方法を学ぶ。DTPデザインとWebデザインの違いを知り、Web特有のグリッドシステムやフォントを理解する。ワークショップを通して、Webサイトの目的やユーザー視点を体験する。

■到達目標：
1: Adobe XDで、HTML/CSSコーディングに配慮したデザインデータを作成できる。
2: さまざまなWebサイトに触れ、その目的や仕組み・構成への理解を深める
3: Webサイトの制作ワークフローを理解し、目的にあわせたデザイン提案ができる。

■授業計画：

- 第1回 Adobe XDの基本、課題1:ワイヤーフレーム作成
- 第2回 共通デザインパーツの共有
- 第3回 スマートフォン版デザインカンブ、Webデザインのフォント
- 第4回 課題2:ワイヤーフレーム作成
- 第5回 プロトタイプ
- 第6回 デスクトップ版デザインカンブ
- 第7回 課題3:ワイヤーフレーム作成
- 第8回 Retinaディスプレイ
- 第9回 動きのあるUI制作
- 第10回 課題4:Webサイトの構成を考える
- 第11回 ワイヤーフレーム・デザインカンブ課題作成実習①
- 第12回 ワイヤーフレーム・デザインカンブ課題作成実習②
- 第13回 ワイヤーフレーム・デザインカンブ課題作成実習③
- 第14回 ワイヤーフレーム・デザインカンブ課題作成実習④
- 第15回 課題提出と講評

■教科書： Adobe XD ではじめるWebデザイン & プロトタイピング

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 引地 幸生 (非常勤講師)
実務経験： 広告代理店クリエイティブディレクターとして勤務後独立。企業ブランドに関わる商品開発やパッケージデザイン、コミュニケーションデザインなどを手掛ける。

科目名 : **専門技術演習 I (ブランディングデザイン)**

履修形態： 選択
授業形態： 演習
履修学年： 2 年次
開講学期： 前期
授業時数： 60 時間
単 位： 2 単位

■科目概要： ブランドという概念やデザインがブランドに果たす重要な役割について理解してもらうと同時に、ブランディングデザインの考え方や手順、発信方法について課題を通して学習する。

■到達目標： ブランディングの手法を通して、幅広い発想力や表現力、企画力、プレゼンテーション力を養う。

■授業計画：

- 第1回 ブランディングデザインとは？
- 第2回 ブランディングデザインの手法を学ぶ①
(ブランド・ファウンデーションとRIOスプリングボードを活用した方法)
- 第3回 ブランディングデザインの手法を学ぶ②
グループワークによるブランド・ファウンデーション(リサーチと分析)
- 第4回 ブランディングデザインの手法を学ぶ③
グループワークによるブランド・ファウンデーション(コンセプトづくり)
- 第5回 ブランディングデザインの手法を学ぶ④
プレゼンテーション・講評
- 第6回 商品ブランディング①
- 第7回 商品ブランディング②
- 第8回 商品ブランディング③
- 第9回 商品ブランディング④
- 第10回 商品ブランディング⑤(プレゼンテーション・講評)
- 第11回 トータルブランディング①
- 第12回 トータルブランディング②
- 第13回 トータルブランディング③
- 第14回 トータルブランディング④
- 第15回 トータルブランディング⑤(プレゼンテーション・講評)

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 野村 ソウ (非常勤講師)
実務経験： 制作プロダクションにてデザイナーとして勤務、飲食店にてデザイナー兼スタッフとして勤務後、独立。

科目名 : **専門技術演習 I (アートディレクション)**

履修形態： 選択
授業形態： 演習
履修学年： 2 年次
開講学期： 前期
授業時数： 60 時間
単 位： 2 単位

■科目概要： 1: アートディレクションの解説
2: アートディレクションの研究
3: アートディレクションの学習・実践

■到達目標： アートディレクションの基礎知識の習得をしながら表現力を育て、型にはまらないアイデアを基軸にしたデザイン思考を伴うアートディレクション能力を培う。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション、アートディレクション解説
- 第2回 アートディレクション研究①
- 第3回 アートディレクション研究②
- 第4回 アートディレクション実践(1)①(商品の選定)
- 第5回 アートディレクション実践(1)②(制作)
- 第6回 アートディレクション実践(1)③(制作、プレゼン)
- 第7回 アートディレクション実践(2)①(B1ポスターアイデア出し、グループディスカッション)
- 第8回 アートディレクション実践(2)②(制作)
- 第9回 アートディレクション実践(2)③(制作、プレゼン)
- 第10回 アートディレクション実践(3)①(ロゴの制作)
- 第11回 アートディレクション実践(3)②(制作)
- 第12回 アートディレクション実践(3)③(制作、プレゼン)
- 第13回 アートディレクション実践(4)①(A4デザイン履歴書アイデア出し)
- 第14回 アートディレクション実践(4)②(制作)
- 第15回 アートディレクション実践(4)③(制作、プレゼン)

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 高橋 龍次 (非常勤講師)
実務経験： カメラマンとして商業写真撮影スタジオ勤務数社を経て独立。様々な媒体の広告写真の撮影を手掛けている。

科目名 : **専門技術演習 I (撮影テクニック)**

履修形態： 選択
授業形態： 演習
履修学年： 2 年次
開講学期： 前期
授業時数： 60 時間
単 位： 2 単位

■科目概要： 一眼レフカメラ、照明機材の操作を習得し、基本的な撮影技法と写真データの扱い方を学ぶ。広告写真緒役割や能力の理解を深め、プレゼンや撮影進行までのワークフローを学ぶ。

■到達目標：
1: 一眼レフカメラを理解し、最大限性能を生かしたさつえいが出来るようになる
2: 選択した被写体に対して適切な手段を使用し意図した撮影が出来るようになる
3: 実践形式で撮影現場を体験することで、制作の流れを理解し、デザインの創作の幅を広げる

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 スタジオ実習①(照明機材などの使用方法や扱い方)
- 第3回 スタジオ実習②(人物のライティング、撮影)
- 第4回 スタジオ実習③(様々なライティング、撮影)
- 第5回 スタジオ実習④(物のライティング、撮影)
- 第6回 スタジオ実習⑤(広告紙面を想定した物撮影)
- 第7回 スタジオ実習⑥(料理のライティング、撮影)
- 第8回 スナップフォト講習会(現像方法、撮影方法、品評会)
- 第9回 画像処理(現像方法、レタッチの技術)
- 第10回 広告物制作(1)①(グループワーク、仮広告媒体を想定して被写体を選択)
- 第11回 広告物制作(1)②(グループワーク、撮影)
- 第12回 広告物制作(1)③(プレゼンテーション)
- 第13回 広告物制作(2)①(各自、仮広告媒体を想定して被写体を選択)
- 第14回 広告物制作(2)②(各自、撮影)
- 第15回 広告物制作(2)③(プレゼンテーション)

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：早坂 宣哉 (非常勤講師)
実務経験：ポスターやCM等の広告をはじめ、ロゴ・パッケージ・web・サイン・内装など、店舗や企業のブランディングを担当。

科目名： **専門技術演習Ⅱ(広告プランニング)**

履修形態：選択
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要：ロゴ、パッケージ、web、映像、広告のなど、具体的な顧客を想定した一連のブランドプロモーション実制作を通して、デザインで”売る”を学ぶ。

■到達目標：販売戦略やプロモーションを見据えたブランドのデザインを学び、売れるブランドづくりに必要な基礎知識やアートディレクションの力を身につける。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 ロゴデザイン実制作①(リサーチ、競合研究、分析)
- 第3回 ロゴデザイン実制作②(制作)
- 第4回 ロゴデザイン実制作③(制作)
- 第5回 ロゴデザイン実制作④(プレゼンテーション)
- 第6回 パッケージデザイン実制作①(リサーチ、競合研究、分析)
- 第7回 パッケージデザイン実制作②(制作)
- 第8回 パッケージデザイン実制作③(プレゼンテーション)
- 第9回 ブランドイメージポスター実制作①(リサーチ、競合研究、分析)
- 第10回 ブランドイメージポスター実制作②(制作)
- 第11回 ブランドイメージポスター実制作③(プレゼンテーション)
- 第12回 ブランド商品広告の企画①(リサーチ、競合研究、分析)
- 第13回 ブランド商品広告の企画②(制作)
- 第14回 ブランド商品広告の企画③(制作)
- 第15回 ブランド商品広告の企画④(プレゼンテーション)

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 向井 まどか (非常勤講師)
実務経験： 広告プロダクションに勤務後独立。パッケージや飲食店のロゴマーク、企業のブランディングなどのデザインに携わる。

科目名： **専門技術演習Ⅱ(パッケージデザインⅡ)**

履修形態： 選択
授業形態： 演習
履修学年： 2年次
開講学期： 前期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要： パッケージデザインの基礎知識をより具体的な仕事をイメージしながら実践する。

■到達目標： 1: マーケットなど商品を取り巻く様々なシチュエーションに柔軟に対応し、ブランドトーンや機能性を選択、的確にパッケージデザインへと定着させる力を習得する。
2: パッケージデザインの仕事の流れを把握する。
3: パッケージデザインを制作する上で必要なコミュニケーションと進行管理のスキルを身に付ける。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 5W1Hに応じたパッケージデザイン①(アイデア出し)
- 第3回 5W2Hに応じたパッケージデザイン②(ラフ制作)
- 第4回 5W3Hに応じたパッケージデザイン③(実制作)
- 第5回 5W4Hに応じたパッケージデザイン④(実制作)
- 第6回 5W5Hに応じたパッケージデザイン⑤(プレゼン)
- 第7回 コンペ出品作品制作①(アイデア出し)
- 第8回 コンペ出品作品制作②(ラフ制作)
- 第9回 コンペ出品作品制作③(実制作)
- 第10回 コンペ出品作品制作④(実制作)
- 第11回 コンペ出品作品制作⑤(プレゼン)
- 第12回 1Cのパッケージデザイン①(アイデア出し)
- 第13回 1Cのパッケージデザイン②(ラフ制作)
- 第14回 1Cのパッケージデザイン③(実制作)
- 第15回 1Cのパッケージデザイン④(フィニッシュ)

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 種村 美穂 (非常勤講師)
実務経験： デザイン工房を主催し、デザイナーおよび職人として主にサインデザイン・シルクスクリーン印刷等を手掛ける。北海道美術協会・北海道版画協会会員。

科目名 : **専門技術演習Ⅱ(シルクスクリーン)**

履修形態： 選択
授業形態： 演習
履修学年： 2年次
開講学期： 前期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要： 水性インクを用いて布にパターンデザインを展開する・油性インクを用いて紙に多色刷りを展開する等、シルクスクリーンの基本技術の習得および印刷特性を踏まえた効果的表現について考察する。また多色刷り中型作品は公募展への出品を想定。

■到達目標： 1: リピータ性を活かしたオリジナリティーのあるパターンデザインと配色の工夫ができる。
2: グラデーションや版の位置合わせができ、構図や配色のバランスを考えた表現ができる。
3: 公募展出品に向け、伸びやかさとオリジナリティーのある表現を工夫できる。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 課題1: 布にパターンを刷る①(手ぬぐいのデザイン・製版準備)
- 第3回 課題1: 布にパターンを刷る②(製版・調色)
- 第4回 課題1: 布にパターンを刷る③(刷り・落版、プレゼンテーション、提出)
- 第5回 課題2: 紙に多色で刷る①(公募展出品に向けた中型作品の制作)
- 第6回 課題2: 紙に多色で刷る②(公募展出品に向けた中型作品の制作)
- 第7回 課題2: 紙に多色で刷る③(公募展出品に向けた中型作品の制作)
- 第8回 課題2: 紙に多色で刷る④(公募展出品に向けた中型作品の制作)
- 第9回 課題2: 紙に多色で刷る⑤(公募展出品に向けた中型作品の制作)
- 第10回 課題2: 紙に多色で刷る⑥(公募展出品に向けた中型作品の制作)
- 第11回 課題2: 紙に多色で刷る⑦(公募展出品に向けた中型作品の制作)
- 第12回 課題2: 紙に多色で刷る⑧(公募展出品に向けた中型作品の制作)
- 第13回 課題2: 紙に多色で刷る⑨(公募展出品に向けた中型作品の制作)
- 第14回 課題2: 紙に多色で刷る⑩(公募展出品に向けた中型作品の制作)
- 第15回 課題2: 紙に多色で刷る⑪(プレゼンテーション、提出)

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 宮崎 昭人 (非常勤講師)
実務経験： Just English Press Ltd.代表取締役。翻訳業務(観光・ビジネス・科学・法務分野等)、海外とのやり取り代行、外国語コンテンツ制作、企業向け英会話講座

科目名 :

英語

履修形態： 必修
授業形態： 講義
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 30時間
単 位： 1単位

■科目概要： 義務教育で習った英語の基本を再確認し、芸術分野、デザイン分野の職業の中で、英語を使用する場面に必要な英語力を習得する。

■到達目標： 英語力の自信を深め、自力でも能力を高めることができるようになるとともに、交換留学生などと積極的に異文化交流ができるような教養を育む

■授業計画：

- 第1回 はじめに：仕事のシーンで間違った英語を使ってしまわない感覚を磨く
- 第2回 身の回りの英語：会社名、ブランド名、商品名に使われている英語の意味
- 第3回 英会話基礎：日本語の中の外来語の多さを理解し、英会話の基礎を学ぶ
- 第4回 品詞の理解：辞書の使い方
- 第5回 品詞別重要ポイント①：名詞、冠詞、代名詞の正しい使い方
- 第6回 スペルミス防止：作品のタイトル、チラシ、ポスター、看板等に見られる誤表記事例
- 第7回 品詞別重要ポイント②：動詞（be動詞、一般動詞）、助動詞の使い方
- 第8回 スペルミス防止：作品のタイトル、チラシ、ポスター、看板等に見られる誤表記事例
- 第9回 品詞別重要ポイント④：接続詞、形容詞、副詞、前置詞、接続詞の使い方
- 第10回 翻訳：翻訳の種類（直訳、意訳、超訳とはどのようなものかを理解する）
- 第11回 翻訳：自動的に翻訳される機械翻訳の問題点を理解し、使い方のコツを習得
- 第12回 自己紹介
- 第13回 口語英語表現、英語を必要とする様々なシーン
- 第14回 日常で使用する英語：住所表記、入国カード、日本食の英語表現
- 第15回 まとめ

■教科書： プリント配布

■参考書： 辞書があれば望ましい

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 長谷川 かおり、和田 夏美 (専任教員)
実務経験： 長谷川：広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務
和田：広告制作会社、印刷会社にグラフィックデザイナーとして勤務

科目名： **キャリアプランニングⅠ**

履修形態： 必修
授業形態： 講義＋演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 30時間
単 位： 1単位

■科目概要： 自らのキャリア形成について主体的に取り組めるようにするため、キャリアデザインの内容およびデザイン業界の職種とその仕事に対する理解を深める。また、ビジネス能力検定ジョブパス3級受験に向けた学習を通して、職業観の醸成および社会人基礎力の向上を図る

■到達目標： 1: デザイン業界の仕事およびそれをビジネスとしている企業のリサーチ方法を理解している
2: デザイナー職とその関連職種について理解している
3: ビジネス能力検定ジョブパス3級合格

■授業計画：

- 第1回 キャリアと仕事へのアプローチ
- 第2回 ビジネスとコミュニケーションの基本①
- 第3回 ビジネスとコミュニケーションの基本②
- 第4回 ビジネスとコミュニケーションの基本③
- 第5回 ビジネスとコミュニケーションの基本④
- 第6回 仕事の実践とビジネスツール①
- 第7回 仕事の実践とビジネスツール②
- 第8回 仕事の実践とビジネスツール③
- 第9回 仕事の実践とビジネスツール④
- 第10回 業界研究①
- 第11回 業界研究②
- 第12回 業界研究③
- 第13回 就職活動の進め方と自己分析①
- 第14回 就職活動の進め方と自己分析②
- 第15回 就職活動の進め方と自己分析③

■教科書： ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト

■参考書： プレストップキャリアデザイン

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 長谷川 かおり、和田 夏美 (専任教員)
実務経験： 長谷川：広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務
和田：広告制作会社、印刷会社にグラフィックデザイナーとして勤務

科目名： **キャリアプランニングⅡ**

履修形態： 必修
授業形態： 講義＋演習
履修学年： 2年次
開講学期： 通年
授業時数： 90時間
単 位： 3単位

■科目概要： 就職活動に際し自己をどのようにアピールしていくのが効果的か、具体的な方法を考察しながら、業界のプロとして仕事をする「職業人」となるために求められる要素を自覚するとともに、卒業後の生活設計を具体的にイメージし、ライフデザインプランを立案する。

■到達目標： 1: 卒業後の具体的な生活設計を含めて、自立した社会人として働く自分をイメージできる。
2: 効果的なセルフプロモーションツール(ポートフォリオ・履歴書・エントリーシート等)を完成させる。
3: 自身の特性を踏まえた業種・職種を絞り込み、具体的な目標として定めることができる。

■授業計画：

- | | |
|------|--|
| 第1回 | 自己分析と企業研究① 自身が持つスキルの洗い出しと希望業種・職種のリサーチ |
| 第2回 | 自己分析と企業研究② 自身が持つスキルの洗い出しと希望業種・職種のリサーチ |
| 第3回 | 自己分析と企業研究③ 現場で求められる要素の分析 |
| 第4回 | 自己分析と企業研究④ 応募先候補企業のリストアップと対策プラン立案 |
| 第5回 | 自己分析と企業研究⑤ 応募先候補企業のリストアップと対策プラン立案 |
| 第6回 | ライフデザイン① 生活設計 |
| 第7回 | ライフデザイン② キャリアプラン |
| 第8回 | セルフプロモーションツール(ポートフォリオ・履歴書・エントリーシート等)の制作① |
| 第9回 | セルフプロモーションツール(ポートフォリオ・履歴書・エントリーシート等)の制作② |
| 第10回 | セルフプロモーションツール(ポートフォリオ・履歴書・エントリーシート等)の制作③ |
| 第11回 | セルフプロモーションツール(ポートフォリオ・履歴書・エントリーシート等)の制作④ |
| 第12回 | セルフプロモーションツール(ポートフォリオ・履歴書・エントリーシート等)の制作⑤ |
| 第13回 | セルフプロモーションツールのブラッシュアップ① |
| 第14回 | セルフプロモーションツールのブラッシュアップ② |
| 第15回 | セルフプロモーションツールのブラッシュアップ③ |

■教科書：

■参考書： プレステップキャリアデザイン

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 長谷川 かわり、和田 夏美 (専任教員)
実務経験： 長谷川：広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務
和田：広告制作会社、印刷会社にグラフィックデザイナーとして勤務

科目名： **職業実践演習**

履修形態： 必修
授業形態： 講義＋演習
履修学年： 2年次
開講学期： 後期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要： 自らのキャリアプラン(進路設計)を具体的に推進していくために必要なリサーチ力・プレゼンテーション力等の向上を図ると共に、インターンシップ・企業訪問・面接等の具体的な就職活動に対応できる社会人基礎力を身に付け、希望する業種・職種への就職達成を目指す。

■到達目標： 1: 複数の情報源を活用しながら求人情報を収集し、分析することができる。
2: インターンシップ等を含めた具体的な就職活動に対応できる社会人基礎力が身に付いている。
3: 希望する業種・職種への就職達成。

■授業計画：

- 第1回 情報源(求人票・各種SNS・企業HP・就活サイト等)の活用とリサーチ活動①
- 第2回 情報源(求人票・各種SNS・企業HP・就活サイト等)の活用とリサーチ活動②
- 第3回 ビジネスマナー演習と筆記試験対策①
- 第4回 ビジネスマナー演習と筆記試験対策②
- 第5回 インターンシップ事前対策① 手続きと心構え
- 第6回 インターンシップ事前対策② 知的財産権
- 第7回 書類選考(履歴書・エントリーシート等)対策①
- 第8回 書類選考(履歴書・エントリーシート等)対策②
- 第9回 コミュニケーション演習(面接対策等)①
- 第10回 コミュニケーション演習(面接対策等)②
- 第11回 ポートフォリオのブラッシュアップとプレゼンテーション演習①
- 第12回 ポートフォリオのブラッシュアップとプレゼンテーション演習②
- 第13回 ポートフォリオのブラッシュアップとプレゼンテーション演習③
- 第14回 振り返り(就職活動報告書)、改善点の洗い出しと対策
- 第15回 振り返り(就職活動報告書)、改善点の洗い出しと対策

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 長谷川 かおり、和田 夏美 (専任教員)
実務経験： 長谷川：広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務
和田：広告制作会社、印刷会社にグラフィックデザイナーとして勤務

科目名： **前期課題制作 I**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 30時間
単 位： 1単位

■科目概要： 日常の講義や演習を通して学んだ発想、技法を活かし、前期のまとめとして課題制作を行う。

■到達目標： 必要な資料を収集するリサーチ能力や、多様な視点から発想を広げて具体的な表現に展開する力を身に付ける。

■授業計画：

- 第1回 リサーチ
- 第2回 収集情報の分析
- 第3回 アイディア出し
- 第4回 アイディア出し
- 第5回 サムネイル制作
- 第6回 サムネイル制作
- 第7回 成果物チェック
- 第8回 実制作
- 第9回 実制作
- 第10回 実制作
- 第11回 実制作
- 第12回 実制作
- 第13回 ブラッシュアップ
- 第14回 プレゼンテーション・講評会
- 第15回 全体の振り返り・まとめ

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 長谷川 かおり、和田 夏美 (専任教員)
実務経験： 長谷川：広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務
和田：広告制作会社、印刷会社にグラフィックデザイナーとして勤務

科目名： **前期課題制作Ⅱ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 2年次
開講学期： 前期
授業時数： 30時間
単 位： 1単位

■科目概要： 日常の講義や演習を通して学んだ発想、技法を活かし、前期のまとめとして課題制作を行う。

■到達目標： 必要な資料を収集するリサーチ能力や、多様な視点から発想を広げて具体的な表現に展開する力を身に付ける。

■授業計画：

- 第1回 リサーチ
- 第2回 収集情報の分析
- 第3回 アイディア出し
- 第4回 アイディア出し
- 第5回 サムネイル制作
- 第6回 サムネイル制作
- 第7回 成果物チェック
- 第8回 実制作
- 第9回 実制作
- 第10回 実制作
- 第11回 実制作
- 第12回 実制作
- 第13回 ブラッシュアップ
- 第14回 プレゼンテーション・講評会
- 第15回 全体の振り返り・まとめ

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 長谷川 かおり、和田 夏美 (専任教員)
実務経験： 長谷川：広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務
和田：広告制作会社、印刷会社にグラフィックデザイナーとして勤務

科目名： 後期課題制作 I

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 30時間
単 位： 1単位

■科目概要： 日常の講義や演習を通して学んだ発想、技法を活かし、後期のまとめおよび進級制作の準備と展開等を踏まえて課題制作を行う。

■到達目標： 必要な資料を収集するリサーチ能力や、多様な視点から発想を広げて具体的な表現に展開する力を身に付ける。

■授業計画：

- 第1回 リサーチ
- 第2回 収集情報の分析
- 第3回 アイディア出し
- 第4回 アイディア出し
- 第5回 サムネイル制作
- 第6回 サムネイル制作
- 第7回 成果物チェック
- 第8回 実制作
- 第9回 実制作
- 第10回 実制作
- 第11回 実制作
- 第12回 実制作
- 第13回 ブラッシュアップ
- 第14回 プレゼンテーション・講評会
- 第15回 全体の振り返り・まとめ

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 長谷川 かおり、和田 夏美 (専任教員)
実務経験： 長谷川：広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務
和田：広告制作会社、印刷会社にグラフィックデザイナーとして勤務

科目名： **後期課題制作Ⅱ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 2年次
開講学期： 後期
授業時数： 30時間
単 位： 1単位

■科目概要： 日常の講義や演習を通して学んだ発想、技法を活かし、後期のまとめおよび卒業制作の準備と展開等を踏まえて課題制作を行う。

■到達目標： 必要な資料を収集するリサーチ能力や、多様な視点から発想を広げて具体的な表現に展開し、社会へ発信する力を身に付ける。

■授業計画：

- 第1回 リサーチ
- 第2回 収集情報の分析
- 第3回 アイデア出し
- 第4回 アイデア出し
- 第5回 サムネイル制作
- 第6回 サムネイル制作
- 第7回 成果物チェック
- 第8回 実制作
- 第9回 実制作
- 第10回 実制作
- 第11回 実制作
- 第12回 実制作
- 第13回 ブラッシュアップ
- 第14回 プレゼンテーション・講評会
- 第15回 全体の振り返り・まとめ

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 長谷川 かおり、和田 夏美 他 （専任教員）
実務経験：

科目名： **進級制作**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 180時間
単 位： 6単位

■科目概要： 一年間の学習で身に付けた専攻の専門知識と技術を集大成した作品を制作する。

■到達目標： 一年間の学習の成果が十分に発揮できている作品を完成させる。

■授業計画：

- 第1回 講師打合せ(1) 各課題の内容を確認し、制作内容を各担当講師と打合わせる
- 第2回 講師打合せ(2)
- 第3回 講師打合せ(3)
- 第4回 実制作(1) 打合せ内容に基き作品制作を行う
- 第5回 実制作(2)
- 第6回 実制作(3)
- 第7回 実制作(4)
- 第8回 実制作(5)
- 第9回 制作内容確認 中間成果物に対して担当講師による内容確認を受ける
- 第10回 ブラッシュアップ(1)
- 第11回 ブラッシュアップ(2)
- 第12回 ブラッシュアップ(3)
- 第13回 ブラッシュアップ(4)
- 第14回 プレゼンテーション準備 審査会に向けて発表資料を作成する
- 第15回 進級制作審査会 作品のプレゼンテーションを行い作品の評価を受ける

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 長谷川 かおり、和田 夏美 他 （専任教員）
実務経験：

科目名： **卒業制作**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 2年次
開講学期： 後期
授業時数： 450時間
単 位： 15単位

■科目概要： 二年間の学習で身につけた専攻の専門知識と技術の集大成となる作品を制作する。

■到達目標： 専攻分野の特性を十分に発揮したと社会的に評価されるレベルの作品を完成させる。

■授業計画：

- 第1回 コンセプトメイキング 作品のターゲットとテーマを設定する
- 第2回 講師打合せ 担当講師と制作内容を確認
- 第3回 一次審査提出作品制作(1)
- 第4回 一次審査提出作品制作(2)
- 第5回 一次審査提出作品制作(3)
- 第6回 一次審査提出作品制作(4)
- 第7回 プレゼンテーション準備 一次審査に向けての資料作成
- 第8回 一次審査 プレゼンテーション
- 第9回 一次審査フィードバック 講評内容と今後の方向性の確認
- 第10回 最終審査提出作品制作(1)
- 第11回 最終審査提出作品制作(2)
- 第12回 最終審査提出作品制作(3)
- 第13回 最終審査提出作品制作(4)
- 第14回 最終審査提出作品制作(5)
- 第15回 最終審査 プレゼンテーション

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点